JHHCA 食支援委員会

多職種協働で、笑顔を目指す食支援のためのチェックリスト

1　趣旨

このチェックリストは、加齢や疾病あるいは障害で、在宅療養中の方々の食支援を多職種協働で行う一助となればと願って作成いたしました。食べ物、食べる力、食べる意欲、そして、本人の思い等、大きく4 つの領域から評価して、適切な食支援のために他専門職種との連携を深めるきっかけづくりにご活用ください。

なお、在宅療養中の方々だけでなく、「食べる」ことに何らかの手助けが必要な方に対して、多職種協働のチームづくりのためにお使いいただくことも可能です。

2　質問項目

本人の周りの介護職・医療職が、食事場面を見るか、家族等から聞いて判断し記入してください。

1	食事が食べやすい形(むせにくい食形態)に調理できていますか？	はい・いいえ・わからない
2	継続した体重の減少がありますか？	はい・いいえ・わからない
3	自分の歯または義歯で、しっかりと咀嚼ができますか？	はい・いいえ・わからない
4	食事中に、むせることがありますか？	はい・いいえ・わからない
5	食事中に、痰が絡むことがありますか？	はい・いいえ・わからない
6	口腔を清潔に保てる環境（介護者の存在等）はありますか？	はい・いいえ・わからない
7	食事を楽しみにしていますか？	はい・いいえ・わからない
8	本人が食べたい食事がありますか？ 「はい」と答えた場合、それは例えば、何ですか？【　　】	はい・いいえ・わからない
9	一緒に食事をする人がいますか？	はい・いいえ・わからない
10	本人が、調理は可能ですか？	はい・いいえ・わからない
11	食材の調達は容易ですか？	はい・いいえ・わからない
12	介護するマンパワーはありますか？	はい・いいえ・わからない
13	嚥下に悪影響をもたらす薬の服用、もしくは、多すぎる薬の服用（例えば 6 種類以上）による悪影響の可能性はありますか？	はい・いいえ・わからない
14	食べ物であることを、認識（認知）できますか？	はい・いいえ・わからない
15	本人は誤嚥のリスクがあっても、口から食べたいと思っていますか？	はい・いいえ・わからない
16	家族は、誤嚥のリスクがあっても、口から食べさせたいと願っていますか？	はい・いいえ・わからない

3　留意事項

以上のような質問項目を聞いた上で、その前提としての状態像、病態像を確認すると、単に関係する職種へのつなぎだけではなく、対応方針（アルゴリズム）を明確にすることができると思われます。

（例）
・嚥下機能に障害（球麻痺等）がありますか？（はい・いいえ・わからない）
・生命の危険がありますか？（はい・いいえ・わからない）
・高齢化・神経難病・悪性疾患等で、人生の最終段階にありますか？（はい・いいえ・わからない）
・本人の意思確認ができますか？（はい・いいえ・わからない）

発行：日本在宅ケアアライアンス（JHHCA）
2025 年 2 月